

日本共産党区議会議員  
Japanese Communist Party

# 安藤たい作

区政報告 ニュース 第34号



街場でハンドマイク宣伝をしていましたら89歳の女性の方が家から出てきてくれました。もう戦争は絶対嫌なので、共産党に頑張ってもらいたいと語ってくれました。あの戦争で大変な犠牲の上に「戦争はしない」と誓った9条。これを投げ捨てる人は政治家失格では??



漫画：安藤たい作

【日本民主青年同盟】青年階層の様々な要求実現を掲げて行動する青年の組織。日本共産党の綱領路線を学び、青年の要求を阻む「政治」も変えていこう、という方針を持っているのが他にはない特徴です。

## 「家賃補助制度つくって」品川に住み続けたい青年が区議会へ請願！

青年の労働環境が大企業いいなりの政治によって破壊に破壊され、今若者には「過労死の正社員」か「ワーキングプアの非正規」かという「究極の二択」が迫られています。政治により未来が閉ざされている中、品川の青年も声をあげ立ち上がっています。

### フリーターの収入では親元離れられない

「収入が少ないため自立できない」「一人暮らししよ」とすると家賃が低い区外に行くしかない。・民青同盟品川地区委員会（＊）の青年が「品川区在住の青年世代への家賃補助を求め、請願」を議会へ提出。6月25日の建設委員会で審議が行われました。請願は①区内青年の生活実態調査を区独自に行う②学生・勤労単身者・新婚世帯への家賃補助制度を作る、事を求めており、街頭で集めたものも含め、青年の手で五〇〇筆に迫る数が集められました。昨年の青年雇用相談窓口の設置等を求める請願に引き続き2年連続の請願提出となります。

と拒否。区の人口と単身者人口は増えている、公平性や社会的意義、緊急性が無い、というのが理由です。共産党のなかつか区議は区内青年の具体的な生活実態を紹介しつつ、フリーターの平均月収は十万円そこそこ（人材サービス会社調べ）である事、区内の1K家賃の相場は7万円台であることを示し、実態調査すら拒む区の姿勢を批判。部長も「気持ちばかりです」と答えざるをえませんでした。

### 「身の丈にあった生活」というもの・・・

審議中、区からも他党派員からも「身の丈にあった生活が基本」という言葉が連発。しかし働き先が低賃金の非正規ばかりの現在の青年にとって、増収の希望は将来にわたって閉ざされつつあります。「身の丈にあった生活を」との言葉は傍聴にも訪れていた青年にどう響いたのでしょうか。

**安藤たい作プロフィール** '74年 宮城県仙台市生まれ33歳。'97年 国立宮城教育大卒。'98年 漫画家を志し上京、漫画家アシスタント。'02年 青年誌奨励賞受賞。大崎駅西口駐輪場改善運動に取り組む。4年の派遣労働経験を経て'06年の品川区議会議員補欠選挙で初当選し2期目。趣味/漫画・イラストを描くこと、キャッチボール。

**安藤たい作ニュース** は、「品川区議会における政務調査費の交付に関する規定」で定める用途基準「広報・活動費」に基づき、政務調査費によって発行されています。